

放射線科専門医研修プログラム (聖隷浜松病院)

1 はじめに

本プログラムは静岡県西部と東部の市民中核病院で、common disease と専門性の高い領域の研修を3年間で行うプログラムです。希望に応じて診断専門医、治療専門医の取得のための2年間の研修も継続できます。

豊富な症例経験に基づく自律した放射線科専門医となり、医療への貢献が期待される人材となることが可能です。

プログラム責任者

聖隷浜松病院 放射線科部長 佐々木 昌子

2 目的

日本専門機構及び日本医学放射線学会で、承認されたカリキュラムのもと規定の症例数を経験するとともに、放射線関連の各学会での学術発表や論文作成により医学への科学的なアプローチを身につけ、自律した放射線科専門医となることが目的です。

このプログラムの特徴は、市民中核病院を中心に研修を行い、一般病院でよく遭遇する疾患や外傷、専門性の高い病院で認められる疾患を広く経験できることです。最新の診断モダリティ、放射線治療手法も使用しながら研修医一人あたりの経験する症例数は非常に多く、すべての領域に精通するバランスのよい放射線科専門医を育成するプログラムになっています。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

聖隷浜松病院

(2) 専門研修連携施設

聖隷三方原病院

沼津市立病院

島田市立総合医療センター

浜松医科大学医学部附属病院

(3) 専門研修関連施設

聖隷健康診断センター

4 専攻医受入数

1 学年 2 人

5 研修期間

3 年間：初期臨床研修修了後、放射線科専門医を取得するまで。

更に2年間：希望に応じて、更にサブスペシャリティーとしての放射線科診断専門医あるいは放射線治療専門医を取得することも可能です。

6 研修計画（例）

3年間研修

〈初め1年間 or 2年間〉（基幹施設）

聖隷浜松病院（県西部）：

救急疾患、周産期診療、がん診療等を総合的に診断、治療研修を行う：
核医学専門医、IVR専門医等の専門取得も可能。PETセンター併設。

また、併設の聖隷健診センター（関連施設）でも、超音波検査、消化管X線検査についての研修を並行して行う。

〈後 1年間 or 2年間〉（連携施設）

浜松医科大学医学附属病院（県西部）：1年間

救急疾患、がん診療、周産期診療等を総合的に診断・治療研修を行う。

聖隷三方原病院（県西部）：1年間

救急疾患、がん診療、認知症疾患等を総合的に診断、治療研修を行う。

沼津市立病院（県東部）：1年間

救急疾患、周産期診療を含む画像診断を中心に診断全般を研修する。

島田市立総合医療センター（県中部）：1年間

救急疾患、がん診療を含む画像診断を中心に診断全般を研修する。

基幹施設（聖隷浜松病院）と連携施設にて経験すべき症例（3年間）。

項 目	目標症例数
X線単純撮影	400例
CT	600例
MRI	300例
超音波検査	120例
消化管X線検査	60例
核医学検査	50例
IVR(血管造影を含む)	30例
放射線治療	30例

7 問い合わせ先

聖隷浜松病院 人材育成センター e-mail hm-kenshu@sis.seirei.or.jp
TEL 053-474-2261、FAX 053-474-2262

聖隷浜松病院リクルートサイト 専門医研修医
URL：<http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/recruit-site/fellowship/>